

校 章



金色の円弧は日本海に面する良港を表し、港湾工業都市として海と深く関わり合いながら発展する舞鶴を象徴している。

円は円満の相で完全さを想わせ、港口の開きは積極性と向上発展を示している。

〈京都工芸繊維大学 福永俊吉教授考案〉

舞鶴工業高等専門学校校歌

森田勝治 作詞

安部幸明 作曲

一、^{き ふ せんねん あらいそ}鬼斧千年の荒磯に

^{なな うみ つらな}七つの海に連りて

^{にしにっぽん ほくもん}西日本の北門に

^{けんらん はなつちか}絢爛の花培へる

^{むせ おやじはすえとほ}咽ぶ親潮末遠く

^{せい き ふんが けい かよ}世紀の文化行き通ふ

^{がく ひと お}学と人とを織りなして

お、うるはしの舞鶴高専

二、^{すがたきり}ときはの姿霧こめて

^{たえ もくじ}妙なる黙示しげくして

^{ふだん どりよくたゆ}不断の努力撓みなく

^{くわがく すゐ きほ け}科学の粋を究め行く

^{やま かた}めぐりの山は語らねど

^{ゆた きよ しづ}悠けく潔く静かなる

^{ちしき うで あざな}知識と技術を糾ひて

お、かぐはしの舞鶴高専

三、^{せだい ひかりせんく}世代の光先駆して

^{にご せいじゆん}濁りにそまぬ清純の

^{あした ゆうべ}朝に夕いそしみて

^{ほまれ とほ かがや}誉は遠く輝きて

^{まひづる いっかく}こ、舞鶴の一角に

^{いき たか はつらつ}意気高らかに浚刺と

^{ふぼつ ちからきた}不拔の力錬へたる

お、なぐはしの舞鶴高専

舞鶴工業高等専門学校校歌

森田勝治 作詞
安部幸明 作曲

後やかに (♩ = 108 - 112)

Musical notation for the first system, piano (p) dynamics.

Vocal and piano accompaniment for the first system, mezzo-forte (mf) dynamics.

Musical notation for the second system, piano (p) dynamics.

Vocal and piano accompaniment for the second system, mezzo-forte (mf) dynamics.

Musical notation for the third system, forte (f) dynamics.

Vocal and piano accompaniment for the third system, forte (f) dynamics.

Musical notation for the fourth system, fortissimo (ff) dynamics.

Vocal and piano accompaniment for the fourth system, fortissimo (ff) dynamics.

Musical notation for the fifth system, fortissimo (fff) dynamics.

Vocal and piano accompaniment for the fifth system, fortissimo (fff) dynamics.